



2017年6月5日

安全できれいな水を届けたい！
669万錠の浄水剤を途上国の子どもたちへ
「Kyoei Safe Water For Children プロジェクト」の取組みでユニセフに寄付

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：杉中洋文）は、不衛生な水をきれいにする浄水剤を途上国の子どもたちに届けるため、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、浄水剤669万錠分に相当する額を寄付いたしました。2015年10月1日に社会貢献活動の一環としてスタートした「Kyoei Safe Water For Children プロジェクト」の取組みによるもので、共栄火災では今後もこの取組みを継続していきます。

寄付の実施について

当社では、社会貢献活動の一環として、2015年10月1日より「Kyoei Safe Water For Children プロジェクト」を実施しております。この取組みは、途上国の子どもたちへ不衛生な水をきれいにする浄水剤を届けるために、自動車保険料の一部を拠出し寄付するというものです。

2016年4月1日～2017年3月31日の1年間で集まった寄付金を公益財団法人日本ユニセフ協会にお届けしました。この寄付金は、浄水剤669万錠として途上国に届けることに使われます。

5月18日（木）には、当社専務取締役の武藤和文と当社キャラクター「サイ吉」が公益財団法人日本ユニセフ協会を訪問し、同協会の早水専務理事より感謝状が授与されました。「社会貢献活動は継続していくことが何よりも大事である。当社の取組みについてご契約者様にご理解、ご協力していただけるよう努めていきたい。」と専務取締役の武藤がこの取組みへの思いを述べました。



左から、早水専務理事、武藤専務取締役、サイ吉

■ 当社の取組みについて

世界には、生きるために必要な「安全な水」さえ手に入らない人々が約6億6,300万人いるとされており、不衛生な水を口にすることで下痢や感染症を引き起こし、幼い子どもたちのかけがえのない命が奪われている現実があります。

当社ではこのような現状を受けて、一人でも多くの子どもたちに安全できれいな水を届けたいとの思いから「Kyohei Safe Water For Children プロジェクト」を企画しました。



今回のプロジェクトに加え当社では社会貢献活動として、バレンタインデーの義理チョコとホワイトデーのお返しを、もっと有意義な目的に使えないかと女性社員有志が発起し、1993年から20年以上にわたり「“義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり” バレンタイン・チャリティ募金」を実施しています。

また、各家庭で不用になった衣料品や余っている家庭常備薬、おもちゃ、文房具、裁縫用具などを集め、マリ共和国（西アフリカ）の難民キャンプへ贈る「クリスマス・チャリティ」を、同じく1993年から実施しています。

当社では、今後もこのような社会貢献につながる各種活動を積極的に実施していきます。